

# 北海道において実動對抗演習参加及び 中・重砲等長距離射撃訓練を実施 第10師団



上富良野演習場において準備訓練を行う隊員



北海道の地を駆ける74式戦車



重迫撃砲の弾薬を装填する隊員



155mmりゅう弾砲 (FH-70) の射撃



87式対戦車誘導弾の射撃

先月に北海道上富良野演習場まで機動を行った第10師団(師団長 鈴木陸将)は、同演習場において準備訓練を実施した後に矢臼別演習場まで移動し、第5旅団との對抗演習を実施した。本訓練は、北海道訓練センター(HTC)の訓練評価支援を受け、第10師団は今後の訓練の資を得ることができた。

また、第10師団は矢臼別演習場において、對抗演習のほか、重迫撃砲や155mmりゅう弾砲等の射撃訓練を実施し、師団としての射撃能力の向上について所望の成果を得ることができた。



方面総監統率方針  
**任務完遂**

発行所  
〒664-0012 兵庫県伊丹市緑ヶ丘7-1-1  
陸上自衛隊  
中部方面総監部広報室  
電話 072(782)0001



機動展開訓練 (左: 民間船舶による機動 右: CH-47による機動)



旅団演習 (左: 警戒監視 右: FH-70による射撃)

第14旅団(旅団長 遠藤陸将補)は、9月2日(水)から19日(土)までの間、長崎県対馬市における機動展開訓練に引き続き、あいつ野演習場において旅団演習を実施した。

機動展開訓練においてはCH-47による空中機動のほか、民間船舶による海上機動を実施した。また、あいつ野演習場における旅団演習においては、警戒監視や中部方面特科隊(隊長 服部1佐)がりゅう弾砲(FH-70)による火力戦闘訓練を行った。

これらの訓練を通じ、第14旅団は機動旅団としての更なる練度向上を図った。

**機動展開訓練及び旅団演習**  
**第14旅団**

# 第3師団 第2次訓練検閲

第3師団（師団長 山根陸将）は、9月2日（水）から9月8日（火）までの間、第2次訓練検閲をあいば野演習場及び青野ヶ原演習場等において実施した。

本訓練検閲により、第37普通科連隊（連隊長 山田1佐）、第3施設大隊（大隊長 菅原2佐）及び第3通信大隊（大隊長 片山2佐）に対して防御を主体とした戦術行動について、その成果を評価するとともに、その進歩向上を促した。



防御戦を行う隊員  
（第37普通科連隊）



07式機動支援橋の展開  
（第3施設大隊）



有線構成の準備  
（第3通信大隊）

## 対空実弾射撃訓練 北海道静内射場

9月4日（金）から9月12日（土）までの間、第10高射特科大隊（大隊長 篠村2佐）は、北海道静内射場において93式近距離対空誘導弾（近SAM）の対空実弾射撃訓練を実施した。

第10高射特科大隊は普段の訓練の成果を十分に生かし、所望の訓練成果を得ることができた。



近SAMの射撃状況



近SAMの操作をする隊員

## 各自治体との防災訓練

| 訓練名           | 場所                 | 期間      | 実施部隊                      |
|---------------|--------------------|---------|---------------------------|
| 福井県原子力防災訓練    | 福井県大飯郡             | 8/26～27 | 第14普通科連隊                  |
| 富山県総合防災訓練     | 富山県滑川市             | 8/30    | 第14普通科連隊                  |
| 愛媛県総合防災訓練     | 愛媛県伊予市             | 8/29    | 中部方面特科隊                   |
| 香川県総合防災訓練     | 香川県高松市             | 8/30    | 第15即応機動連隊                 |
| 福知山市防災訓練      | 京都府福知山市            | 8/31    | 第7普通科連隊                   |
| 姫路市防災訓練       | 兵庫県姫路市             | 8/31    | 第3特科隊                     |
| 三重県総合凶上訓練     | 三重県津市              | 9/1     | 第10飛行隊                    |
| 京都府総合防災訓練     | 京都府京都市             | 9/1     | 第7普通科連隊                   |
| 出雲市防災訓練       | 島根県出雲市             | 9/1     | 第13偵察隊                    |
| 広島市総合防災訓練     | 広島県広島市             | 9/4     | 第46普通科連隊                  |
| 鳥取市防災訓練       | 鳥取県鳥取市             | 9/10    | 第8普通科連隊                   |
| 北名古屋市防災訓練     | 愛知県北名古屋市           | 9/13    | 第10施設大隊                   |
| 滋賀県合同防災訓練     | 滋賀県大津市、東近江市        | 9/20    | 第3戦車大隊<br>第3飛行隊           |
| 兵庫県阪神地域合同防災訓練 | 兵庫県尼崎市、三田市、西宮市、三木市 | 9/20    | 第3特科隊<br>第3飛行隊<br>自衛隊阪神病院 |
| 石川県防災総合訓練     | 石川県穴水町             | 9/27    | 第14普通科連隊                  |

中部方面隊（総監 野澤陸将）は、8月下旬から9月にかけて、各自治体との防災訓練を実施した。

本防災訓練により、中部方面隊が各自治体との連携を更に深め、各種災害に備える基盤とするとともに、各自治体との信頼を深めるための一助となった。



07式機動支援橋の展示（愛知県）



野外炊具の展示（兵庫県）

# 防衛副大臣 部隊視察



部隊長との懇談（出雲駐屯地）

広報ブース視察（島根地方協力本部）

隊内巡視（米子駐屯地）

9月9日（水）、中部方面隊（総監野澤陸将）は、山本防衛副大臣（当時）の視察を受け、防衛副大臣の視察受けは、出雲駐屯地（駐屯地司令第13偵察隊長中津2佐）、自衛隊島根地方協力本部（本部長 高橋1佐）及び米子駐屯地（駐屯地司令第8普通科連隊長 天内1佐）の3箇所で行われた。防衛副大臣は、それぞれの視察地において、部隊から状況報告、隊内巡視、部隊長等との懇談のほか、自衛隊島根地方協力本部広報ブースの視察をされた。防衛副大臣は、本視察を通じて、部隊の現状等を把握され、有意義な視察を終了した。

# 愛知県 合同企業説明会



企業担当者による説明



中隊長と企業担当者との懇談

中部方面隊（総監 野澤陸将）は、9月8日（火）愛知県に就職を希望する任期満了退職予定隊員等に対し、委託会社（パソナ（株））が実施する民間企業の就職説明会を愛知県において開催した。  
この日、会場となった名古屋国際会議場には、隊員約150名、民間企業約140社が集まり、企業説明のほか、中隊長と企業との懇談及びOB・OGによる体験談の説明・相談が行われた。  
任期満了で退職を予定する隊員にとつて、再就職準備を円滑にし、今後の人生設計を見つめ直す良い機会とすることができた。

## YouTubeで動画配信中！



障害走シリーズ（第1弾～第3弾）



40代陸曹長 猛書目に障害走はしてみた



逮捕術競技会



キャンプ企画第1弾

中部方面隊では中の方YouTubeチャンネルにおいて動画を配信中です。「障害走はしてみた」シリーズや警務隊（陸上自衛隊内における警察）の逮捕術競技会のほか、キャンプ企画第1弾を公開中です。

公式ホームページ

中部 YouTubeチャンネル



まだご覧になっていない方は、是非ご覧になって下さい！  
今後も様々な動画配信にチャレンジしていきます！

## イベント情報

| 実施予定日                    | 行事名                                  | 場所               | 問い合わせ先                         |
|--------------------------|--------------------------------------|------------------|--------------------------------|
| 11月8日<br>11月中旬以降に延期      | あんしん<br>あんぜん<br>ふちゅう<br>防災王国<br>2020 | 府中イオン<br>モール     | 広島地方<br>協力本部<br>082-221-2957   |
| 11月28日                   | 航空機体験搭乗                              | 八尾駐屯地            | 伊丹駐屯地<br>司令業務室<br>082-221-0001 |
| 10月下旬から<br>11月下旬ごろ<br>中止 | あきつぽっと<br>安心ネット<br>チャレンジ<br>フェスタ     | 安芸津B&G海<br>洋センター | 広島地方<br>協力本部<br>082-221-2957   |

各駐屯地の記念行事については、新型コロナウイルス流行のため、中止又は一般公開されていません。記念行事以外のイベントも日程等が変更される場合がありますので、事前にご確認ください。

# 豊川駐屯地業務隊

豊川駐屯地業務隊は、愛知県三河地区（豊田市を除く。）を家族支援の担当地域としています。平成28年6月に豊川駐屯地業務隊は、愛知県自衛隊家族会との連携強化のため、家族支援に関する協定を締結しました。

この協定により、家族会職員は、災害発生時に最寄の避難所に向かい、市役所名簿班への問い合わせ又は特設公衆電話で隊員家族の安否を確認できます。

この際、円滑に安否確認を実施できるように、業務隊は家族会と協力して「家族支援マニュアル」を作成し、家族会会員へ配布しました。

また、令和2年9月には、家族会会員とともに豊橋市役所を研修し、市役所担当者から実際に避難者情報の閲覧方法や、特設公衆電話の使用方法の説明を受け、安否確認の要領を明確にしました。

今後も、駐屯地行事等を通じて家族会との連携を更に深化させ、より充実した家族支援態勢の構築に努めて参ります。



「家族会支援マニュアル」完成時の様子



豊橋市役所研修の様子

## 「意識改革」



第14後方支援隊第1整備中隊長（善通寺駐屯地）1等陸尉 上田 純

平成30年8月に第14後方支援隊第1整備中隊長に上番し、今年の8月で2年が経過しました。この間、平成30年7月豪雨に伴う災害派遣に始まり、令和2年8月には中隊検閲を受閲し、諸先輩から受け継いだ中隊の伝統を基盤に隊員及び中隊を練成してきました。その中で特に着意した事項は、「意識改革」であります。今自らが置かれてある現状に甘んじることなく、現状を踏まえて新たな目標を設定しそれを達成するために「如何に隊員の意識を変えていくか」ということに着意して「後輩の育成は自らの手で」と言い続けて中隊を鍛えて参りました。

その一つの成果として、隊員自主募集があります。我が中隊では、平成30年度に隊員自主募集情報14件に対し入隊者3名、平成31年度においては自主募集情報19件に対し入隊者6名の成果を収めることができました。ハイスクールリクルーターの活動もありましたが、特に成果のあった要因として「若年隊員」による募集情報の獲得が挙げられます。新隊員等の若年隊員は、まだ学生時代の付き合い（地元とのつながり）のある隊員が多く、同級生及び部活動の後輩等比較的情報を取得しやすい環境にあります。また、PTAやスポーツ等の部外活動においてもそのネットワークにより情報を取得しやすいのではないかと自身の経験からも感じております。私も平成28年度及び平成31年度に1名ずつ入隊に繋がる情報を提供しております。今後、隊員一人一人が何事にも参画意識を保持できるように、目的・目標を明確にするとともに、「意識改革」して部隊及び隊員の育成に努めてまいります。

## うちのご飯

### 「米子駐屯地」



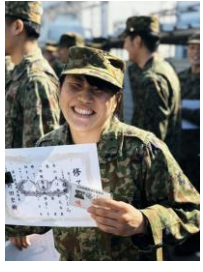
松葉蟹が1/2枚入った蟹汁

米子駐屯地は鳥取県西部に位置し、海や山に囲まれた自然豊かな地域です。近年、鳥取県は星空が綺麗に見えることから「星取県」、蟹の水揚げ量日本一であることから「蟹取県」として県外にPRしています。

冬の味覚「松葉蟹」が11月初旬に解禁します。それに合わせて駐屯地では松葉蟹のメス「親蟹」を「蟹汁」として提供します。駐屯地納品時はまだ生きている蟹を使用して出汁をとり、その蟹を器に1/2枚づつ盛り付けます。蟹の出汁が効いた味噌汁はもちろんのこと、蟹の中にある内子と蟹味噌の濃厚な旨味そして外子の食感も味わえる豪快で贅沢な一杯です。年に1度2回しか提供できない貴重な献立ですので、食べられた方はとても幸運です。その他にも地元食材「二十世紀梨」「ねばりっこ（長いも）」「大菜すいか」や「豆腐ちくわ」を使用した献立を提供しています。米子駐屯地にウエルかに！

# わひろわ★フレイター

「第3師団初の女性格闘指導官として」



第36普通科連隊（伊丹駐屯地）3曹 植野 さくら

理中隊通信小隊に配属され、有線通信陸曹として勤務しています。

普通科職種は、最前線で任務に従事します。その中で私は、通信小隊として有線通信の構成、維持、運営をし、連隊の任務完遂に寄与しています。しかし、さらに連隊に貢献できることはないかと思い、体育学校での勤務経験を生かして格闘訓練隊に参加し、練度を向上させることにしました。上司の方や同期、後輩隊員に訓練中は支えていただき、勤務調整をしてくださった中隊や小隊の協力もあって、今年の2月に部隊格闘指導官を取得することができました。

師団の格闘指導官課程においても、たくさんの方の助教の様々な知識、技術を指導していただき、また、いろいろな職種、人生経験をした同期とも切磋琢磨し、とても貴重な充実した経験をする事ができました。それと同時に、私はまだまだ未熟だと痛感しました。師団では女性自衛官の指導官は私しかいませんので、今後は後輩隊員育成に尽力するとともに、部隊に普及していきたいと思っております。また、今後は私自身も今以上に練度を向上させ、上級格闘指導官を目指していきたいと思っております。



相手を抑え込む植野3曹